

プラごみゼロ宣言は松田の おいしい水をアピールする好機



質問者
平野 由里子 議員

松田町の乾杯条例は、

お酒だけでなくミカンジュースもお茶も、そもそも水も、ということでお酒を飲めない方々にとっても好評です。1月下旬には、足柄茶を松田の水でおいしく入れるイベントが開催され、多くの参加者を集め反響を呼びました。

そのイベントで、マイクロプラスチックについて講義があったと聞いています。おいしい水をこの先もずっと守るためにも、またプラごみ削減のためにも、プラスチックについて、町の取り組みをお伺いします。

(1) プラごみリサイクルの現状は？

(2) 国も県もキャンペーンを行っていますますが、町としての対応は？

(3) 松田のおいしい水をアピールするためにも、マイボトル給水器を設置してはいかがでしょうか？

A
プラごみ削減に
取り組み、美味
しい水を守る
回答 (町長)



(1) リサイクルの対象となる容器包装プラスチックを、松田町は平成29年度に約78トン排出しており、収集された後、川崎



分別後、圧縮梱包されたプラスチック

の製鉄所に送られ高炉で高熱処理され、主としてコークス燃料や発電用ガスに分解されている。

(2) 当町でも、かながわプラごみゼロ宣言への賛

松田小木造校舎の建設費、 全国の方に呼びかけを！



質問者
田代 実 議員

松田町始まって以来の大規模プロジェクト、松田小学校の木造校舎建設事業が始まりましたが、その財源の負担は厳しい状況にあります。議会で

同を前向きに検討し、マイバッグ・マイボトル持参、リユース食器や再生可能な素材の食器の使用、川から海にプラスチックごみを流さないなど、マイクロプラスチック問題に対する啓発活動を進める。

(3) マイボトル給水器は

予算化されていないが、公共施設や町内の協力店舗を募り、給水スポットを確保したい。SDGsも踏まえて水環境の保全に取り組んでいく。

は、町債を少しでも減とすためインターネットやマスコミを介し、建設資金を調達する「クラウドファンディング型ふるさと納税」の推進を条件

の一つに賛成しました。

先般、この事業に町民の方(匿名)から1000万円の寄付があったそうです。町民を始め松田出身者や交流事業により強い愛着を持たれている方など、「隠れ松田ファン」が全国に多いと推察します。

そこで、資金調達に関する今後の展開や寄付をされた方への対応について、町長の考えをお伺いします。

A
「郷土愛」をキーワードに全国へ
周知していく
回答 (町長)



試験的に、29万人いると言われる「松田」姓の方を対象に、有名な企業と連携して女性活躍推進事業に関するクラウドファンディングを開始する。

同様に、松田小の木造校舎建設への寄付は、「郷土愛」というキーワードを掲げ、松田町を多くの方々に知っていただくための貴重な場となるので、周知していく。

クラウドファンディングは、地域やその取組を応援していただくのが最大の目的であるので、魅力的な町づくりを、多数の方と協働・連携協力していきたい。また、寄附をされた方には、ご意向によりお名前を残す方法を検討したい。

※クラウドファンディング…不特定多数の方から、目的を持って資金を集めること。



松田小学校の外観